

令和元年度事業報告

令和元年度は、徳島県から指定管理者として指定を受けたスポーツ施設の効率的で効果的な管理運営と活用を図るとともに、生涯スポーツの普及及び競技力の向上に係る事業を展開し、県民の皆さまのニーズにお応えしながら、健康の保持増進や体力づくりに向けた取組みを実施しました。また、総合型地域スポーツクラブの支援機関として、地域コミュニティに根付いた生涯スポーツの振興に取り組みました。

今年度は新たに、「スポーツ無関心層0（ゼロ）プロジェクト」と「三大国際スポーツ大会関連事業」を受託し、スポーツ習慣の普及やスポーツを通じた国際交流等に対する県の取組を最大限バックアップし、安心安全且つ魅力ある施設の維持管理に努めてまいりました。

1 競技力向上推進事業（継続事業1）

（1）競技力向上のための教室を開催

本県の競技力の継続的な向上を図るため、専門の外部講師によるスポーツ教室を開催しました。

事業名	開催場所	開催日(回数)	参加延人数
ジュニアフェンシング教室	鳴門	4月～2月（31回）	311人
少年剣道教室	鳴門	4月～2月（79回）	947人
弓道教室	鳴門	4月～3月（84回）	335人
テニス教室	蔵本	4月～3月（86回）	1,223人
すもう教室	蔵本	4月～2月（22回）	73人
合計		4月～3月（302回）	2,889人

（2）実践力向上のための応援事業の実施

令和2年3月22日（日）に開催予定であった「とくしまマラソン2020」への参加者（中級者）を対象に、大学教授や管理栄養士等の専門家による理論と実践の両面にわたる指導を行い、更なるレベルアップを図るとともに、参加者の交流を深めより良いスポーツライフの実現に寄与しました。「とくしまマラソン2020」は開催中止となりましたが、講座は当初の予定通り実施しました。

事業名	開催場所	開催日(回数)	参加延人数
とくしまマラソン応援講座in鳴門	鳴門市	令和元年11月～ 令和2年3月（8回）	591人

2 指定管理受託事業（その他事業1）

（1）受託施設の管理運営

徳島県から委託（指定管理）を受けた体育施設を、

- ・施設の設置目的を踏まえた事業展開
- ・安全で安心して利用できる施設の提供
- ・利用者視点に立ったサービスの提供
- ・コスト意識の重視
- ・施設老朽化への適切な対応

の5つの視点を施設の管理運営方針に掲げ、社会変化に迅速に対応できる柔軟な発想力をもって、利用者サービスの向上と効果的な運用に取り組み、多くの県民の皆さまに安全・快適にご利用いただける施設となるよう努めました。

また、今年度は鳴門第二陸上競技場ウレタン改修工事や蔵本体育ホール床面改修工事、中央武道館空調設備新設工事等の大規模な改修工事が集中したため、適切な利用調整と利用者の安全に万全を期すよう努めました。

◆施設の利用状況（指定管理3施設合計）

本年度は、複数の施設で改修工事に伴う長期の使用停止期間があったことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月に予定されていた大会等の大半が中止または延期となったことにより、前年度に比べ施設利用件数、施設利用者数、施設使用料がそれぞれ減少しました。

	令和元年度	平成30年度	増 減
施設利用件数	53,455件	56,803件	▲3,348件
施設利用者数	637,009人	678,735人	▲41,726人
供用時間外	1,723時間	1,618.5時間	104.5時間
施設使用料	約57,208千円	約57,359千円	▲約151千円
免除額	約29,504千円	約31,319千円	▲約1,815千円

◆維持管理

職員による日常の維持管理・点検とともに、専門業者への委託による法定点検や専門性の高い点検により、安全で安心な利用環境を確保しました。

◆修繕

専門的な資格や高度な技術処置が必要なものは業者に依頼し実施しましたが、軽易な修繕はもちろん、緊急対応が必要な修繕についても職員が自ら速やかに実施するなど一層の内製化を進めました。

また、大規模な修繕を必要とするものについては、必要な安全対策を講じ、速やかに県に報告するなど施設・設備の保全に努めました。

◆衛生管理

日常的な清掃に加え、定期的にワックス掛け等を実施するとともに、手洗い洗剤・

消毒液の常設など、清潔で美しい施設の保持に努めました。また、新型コロナウイルスの流行に際しては、消毒液の増設や設備の殺菌清掃を行うとともに、利用者に対しては3密の回避など、より安全な施設利用に協力いただけるよう啓発に努めました。

◆安全管理

開館時間帯には、職員による巡回、閉館後は委託警備会社による警備により、利用者の安全確保と施設の損傷行為等の防止に努めました。また、合宿所利用時はもちろんの事、避難所開設時や台風等の非常時には職員が常駐し、適切な施設の管理運営に努めました。

① 鳴門総合運動公園（鳴門・大塚スポーツパーク）スポーツ施設

◆受託施設：陸上競技場（ポカリスエットスタジアム）、第二陸上競技場、野球場（オロナミンC球場）、体育館（アミノバリューホール）、武道館（ソイジョイ武道館）、弓道場、庭球場、球技場、相撲場、集会所、詰所

◆利用状況

令和元年度は、第二陸上競技場で改修工事に伴う約半年の使用停止期間（10月～3月）があったものの、徳島ヴォルティスのホームゲーム数の増加やアミノバリューホールでのTリーグ等の大規模大会の複数開催により、2月末時点では前年度より施設利用者数で28,230人、施設使用料で約2,661千円増加しておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大のため、3月に予定されていた大会等の大半が中止または延期となったことにより、最終的には施設利用件数、施設利用者数、施設使用料が共に減少しました。

	令和元年度	平成30年度	増 減
施設利用件数	30,035件	33,850件	▲3,815件
施設利用者数	507,533人	526,796人	▲19,263人
施設使用料	約36,397千円	約36,664千円	▲約267千円

◆施設の管理状況

ポカリスエットスタジアムのピッチについては、散水や芝刈り、ディボット補修等の日常管理を職員が実施し、特殊機械が必要な作業については県内専門業者に委託することにより、良好な管理水準を維持しました。

また、2018シーズンのJリーグのピッチコンディション評価において高評価を受けたことから、2019シーズンは更に補修技術を高めるとともに土壌・水質の検査や肥料の工夫をすすめたことにより、全国54スタジアム中2番目という昨年を超える高評価を受けました。

オロナミンC球場や球技場等でもポカリスエットスタジアムで培った管理手法を用いて、施設利用や芝生の育成状況に応じた作業を職員が日常的に実施しました。屋内施設では、競技ごとの設備の準備や点検を行いスムーズな大会運営に協力しました。

全体として施設・設備の老朽化が進んでおり、突発的な設備の故障等が増加傾向にあるため、日常的に細部まで注意を払った点検・整備を行うことにより予防保全に努めました。

(日常維持管理作業)

施設	作業項目	主な作業内容	実施時期
ポカリスエット スタジアム	トラック整備	トラック清掃、高圧洗浄	週1回、随時、大会前後
	館内清掃	掃除、拭き掃除	毎日、随時、大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去、ゴミ拾い	週1回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、散水、ディボット補修、除草、施肥、消毒	週2～3回、大会中及び前後
	合宿等	掃除機掛け、拭き掃除	随時、大会・合宿前後
	Jリーグ対応	ロープ張り、ラインカーによるペイント	ホームゲーム前々日又は前日
第二陸上 競技場	トラック整備	トラック清掃	週1回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、散水、除草、施肥、消毒	適宜
	館内清掃	掃き掃除、拭き掃除	毎日、随時、大会前後
オロナミンC 球場	グラウンド整備	土入れ、整地、散水、転圧、石取り	随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、散水、除草、施肥、消毒	5月～10月週1回、大会前後
	館内清掃	掃除、塵除去、モップ掛け	毎日、週1回、大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去、ゴミ拾い	週1回、大会前後
	用器具整備	ベース修理、トンボ製作、器具類点検	週1回、大会前後
アミノバリュー ホール	館内清掃	掃除、塵除去、拭き掃除	毎日、随時、大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去、ゴミ拾い	随時大会前後
	用器具整備	補修点検、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	植栽管理	刈込み、散水、除草、消毒	週1回、随時
ソイジョイ 武道館	館内清掃	掃除、モップ掛け、スィーパー	毎日、週2回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去、モップ掛け	随時大会前後
弓道場	館内清掃	掃除、塵除去、モップ掛け、拭き掃除	毎日、週2回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、散水、施肥、除草、消毒	週1回、随時、大会前後
庭球場	コート整備	マットによる整備、コート内・側溝清掃	大会前後及び練習前後
	用器具整備	ネット整備補修、用具整備、レイキ保守	大会前後及び練習前後
	植栽・芝管理	芝・生垣刈込み、施肥、雑草除去等	5月～10月週1回
球技場	館内清掃	モップ掛け、掃除	毎日、週1回、随時、大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去、ゴミ拾い	随時大会前後

球技場	芝生管理	刈込み、散水、除草、施肥、消毒	週1回、随時、大会前後
	用器具管理	点検補修	随時、大会前後
相撲場	土俵管理	補修点検、周辺清掃	随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、散水、除草、施肥、消毒	週1回、随時、大会前後
集会所	館内清掃	掃除、塵除去、拭き掃除	毎日、週1回、随時、使用前後
	室内換気	雨戸点検	随時
各施設の周辺の清掃		掃除、塵除去、ゴミ拾い	随時

(主な修繕)

オロナミンC球場	放送スピーカー増設	アミノバリュー	館内防犯カメラシステム更新
	自動散水栓更新	ホール	玄関ホール照明器具 LED 化
ポカリスエット スタジアム	大会記録用コンピュータ機器更新	弓道場	遠的防矢ネット取替
	第4ゲート重量シャッター修繕		得点システムモニター更新
	合宿室パッケージエアコン更新	公園トイレ等監視カメラシステム設置	
球技場	受水槽改修	各施設消防設備不良個所修繕	
庭球場	人工芝部分張替		

② 蔵本公園（JAバンク蔵本公園）スポーツ施設

◆受託施設：野球場（JAバンク徳島スタジアム）、庭球場（JAバンクテニスプラザ）
相撲場、プール（JAバンクちよきんぎょプール）

◆利用状況

令和元年度は、前年度に比較して施設利用件数・施設使用料共に増加しました。これは徳島インディゴソックスのゲーム数の増加やトレーニング室の利用者の増加が主な要因です。一方、3月の大会等の自粛により個人利用が中心となったため、施設利用人数は減少しました。

	令和元年度	平成30年度	増 減
施設利用件数	21,973件	20,789件	1,184件
施設利用者数	108,974人	114,239人	▲5,265人
施設使用料	約19,088千円	約17,893千円	約1,195千円

◆施設の管理状況

JAバンク徳島スタジアムでは、会議室空調設備の更新や野球場観客席のトイレパーテーションの大幅改修を行い、利用者への利便性と快適性の向上に努めました。また、JAバンクちよきんぎょプールの管理運営に当たっては、プール衛生管理者の資格を有する職員を配置し、水温、PH等の測定や、検査機関による水質検査により水質管理を行うとともに、安全点検の徹底、プール監視員の安全技術研修等、事故防止に万全を尽くしました。特に、本年は50mプール等の改修工事が行われ、施設環境や競技用設備の内容が大きく更新されたため、大会の運営状況や水質・水量の調整に

細心の注意を払い適切な施設の維持に努めました。

(日常維持管理作業)

施設	作業項目	主な作業内容	実施時期
JAバンク 徳島スタジアム	グラウンド整備	土入れ、整地、散水、転圧、石取り	随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、雑草除去、施肥、散水、消毒等	生育期間中週1回、大会前後
	館内、スタンド	ダッグアウト、スタンド、便所清掃	毎日、随時、大会前後
	用器具整備	ベース修理、トンボ製作、草刈機手入れ	週1回、随時、大会前後
	トレーニング室 体育ホール	清掃、用器具整理・補修・更新等	随時
	ナイター業務	巡視、電話対応・照明点滅、施設戸締り	随時
JAバンク テニスプラザ	コート整備	マットによる整備、コート内・側溝の清掃	随時、大会前後、練習前後
	芝・樹木管理	芝・生垣刈込み、施肥、花壇手入れ等	生育中週1回、その他適時
	本館スタンド	清掃、整理整頓、スタンドペンキ塗り等	随時、大会前後、練習前後
	用器具整備	ネットの整備と補修、用具の整備	随時、大会前後、練習前後
	ナイター業務	照明の点滅、巡視、施設の戸締り	随時
相撲場	土俵整備	土入れ、砂入れ、整地、散水等	大会・練習前後、適時
	管理清掃	除草、清掃、側溝の土取り等	週1回、大会・練習前後適時
JAバンク ちよきんぎょ プール	非開設時管理	水補充、清掃、薬剤による浄化等	10月～5月適時
	開設中水管理	水温・残留塩素・PH等測定、水質検査	6月～9月随時
	建物等の保全	プール・施設清掃、スタンド・便所清掃等	随時
	芝等の管理	芝の刈込み、施肥、除草、散水等	生育中週1回、その他適時
	用具の整備	コースロープ、ビート板等補修	随時

(主な修繕)

JAバンク 徳島スタジアム	会議室空調設備更新	JAバンク	ダイビングボード更新
	バックネット裏天井ネット修繕	ちよきんぎょ	ろ過機グランドパッキン更新
	トイレブース改修	プール	プールクリーナー更新
	作業用スポーツラクタ更新	テニスプラザ	オムニコート補修・部分張替
	諸室漏水防止修繕		コートブラシ更新

③ 中央武道館

◆受託施設：柔道場、剣道場、弓道場、研修室

◆利用状況

令和元年度は、柔・剣道場の空調新設工事および剣道場の床張替えに伴い、7月から12月まで柔・剣道場の使用停止期間があったことに加え、3月の大会等の自粛により施設利用者数、施設利用者数、施設使用料が共に減少しました。

	令和元年度	平成30年度	増 減
施設利用件数	1,447件	2,164件	▲717件
施設利用者数	20,502人	37,700人	▲17,198人
施設使用料	約1,722千円	約2,802千円	▲約1,080千円

◆施設の管理状況

施設・設備の老朽化が進むなか、日常的な点検・整備体制を強化し、事故の予防・美観の維持に努めました。柔・剣道場での改修工事にあわせ、弓道場のシャッターの更新や、矢取廊下窓枠修繕等を行い、施設全体の利便性、安全性の向上を図りました。

(日常維持管理作業)

施設	作業項目	主な作業内容	実施時期
柔道場	場内外清掃	畳、観覧席、倉庫、師範控室の清掃	週1回、毎日
	用器具整備	放送設備、審判器具、ホワイトボード等の点検整備	大会前後、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・椅子の配置	大会時
剣道場	場内外清掃	床板、観覧席、倉庫、師範控室の清掃	週2回、毎日
	用器具整備	放送設備、ホワイトボード等の点検整備	大会前後、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・椅子の配置	大会時
弓道場	場内外清掃	射場、的場、鑑的、師範控室、矢取道等の清掃	週1回、月2回等
	用器具整備	放送設備、的、黒板の点検整備	大会前後、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・椅子の配置	大会時
研修室	室内外清掃	畳、脱衣室、浴室の清掃	毎日、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・座布団の配置	大会時
地下	室内清掃	更衣室1～3、脱衣室、シャワー等の清掃	毎日、随時
周辺	館外清掃	落葉、ゴミ等の清掃	2日1回
	芝生・植栽管理	芝刈り、施肥、除草、剪定作業等	随時

(主な修繕)

弓道場射場シャッター建具・戸車更新	弓道場の場無地幕更新
弓道場矢取廊下窓枠修繕	全館竖樋・山門樋修繕

(2) スポーツ普及のための健康教室の開催

指定管理施設を利用して、次のような健康教室等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い層の方にスポーツに親しんでいただきスポーツの普及に努めるとともに、高齢

者等の健康寿命の延伸や子どもの体力向上等を図りました。

本年度は新たに、日曜夜間に「スッキリトレーニング教室」を開講し働き盛り世代の運動機会向上に努めるとともに、誰でも簡単に始められる教室や、ニュースポーツの普及に資する教室を開講しました。

また、県西部防災館での出張教室を行い防災館の利活用支援に取り組むとともに、蔵本公園体育ホールの改修により使用できない期間は、近隣の障害者支援施設眉山園や中央武道館等での代替教室を開催し、受講者の運動機会の維持に努めました。

開催場所	事業名	開催日(回数)	参加延人数
鳴門	ハツラツ健康教室	4月～ 3月(30回)	1,322人
	親子うんどう教室(2・3歳児と保護者)	4月～ 2月(28回)	580人
	生き生き筋活	4月～ 3月(45回)	832人
	パワーヨガでフィットネス	4月～ 3月(30回)	853人
	燃焼系格闘技エクササイズ教室	4月～ 3月(30回)	885人
	わんぱく運動(5歳児)	4月～ 3月(41回)	813人
	生活習慣病予防教室	4月～ 3月(55回)	2,132人
	スポンジテニス(初級・ゲーム)	4月～ 3月(60回)	1,052人
	脱メタボ・ヨガ	4月～ 3月(30回)	1,778人
	トレーニング教室	4月～ 3月(44回)	647人
	親子うんどう教室(4歳児と保護者)	4月～ 2月(28回)	607人
	ジュニアスポーツ教室(小学3・4年)	4月～ 2月(28回)	405人
	Reborn 体幹入門	4月～ 3月(60回)	515人
	ウェル COME! 長寿教室	4月～ 3月(30回)	781人
	のびのびストレッチ	11月～ 3月(15回)	491人
	ロコモ予防教室	4月～ 3月(30回)	1,197人
	ニュースポーツ教室	4月～ 3月(30回)	337人
	ジュニアスポーツ教室(小学1・2年)	4月～ 2月(28回)	644人
	スッキリトレーニング教室	4月～ 9月(16回)	88人
	小計		15,959人
蔵本	ちょこっとダンス	4月～ 3月(45回)	946人
	生き生き筋活	4月～ 3月(58回)	1,342人
	トレーニング	4月～ 3月(30回)	669人
	わんぱく運動(4歳)	4月～10月(15回)	299人
	ジュニアスポーツ(1・2年)	4月～ 2月(41回)	652人
	ストリートダンス	4月～ 2月(26回)	440人
	ビジョンヨガナイト	5月～ 3月(30回)	503人
	Reborn 体幹入門	5月～ 3月(60回)	486人

蔵本	ユニバーサルスポーツ体験	3月～ 2月(24回)	365人
	生活習慣病予防	3月～ 2月(28回)	523人
	ビジョンヨガ	5月～ 3月(60回)	1,134人
	チャレンジスポーツ	4月～10月(15回)	250人
	わんぱく運動(5歳)	4月～10月(15回)	312人
	シュレイ先生のやさしい英会話	4月～ 3月(30回)	497人
	親子うんどう	4月～ 2月(29回)	238人
	楽しくピンポン	4月～10月(14回)	420人
	バウンドテニス	4月～10月(15回)	325人
	肩こり解消体操	4月～ 3月(30回)	560人
	スポンジテニス	4月～10月(15回)	270人
	キッズ・ベーシック・イングリッシュ	4月～ 2月(30回)	221人
	楽しくシェイプアップ	5月～ 3月(30回)	405人
	短期水泳教室	8月(14回)	213人
	シルバーニューススポーツ	6・10・11月(4回)	69人
	トレーニングセミナー	6・10月(2回)	78人
	子ども書道	7月(1回)	15人
	理学療法士会健康増進部会講演会	10月(1回)	33人
	西部防災館出張教室	12月～ 1月(4回)	81人
	小計		11,346
中央	高齢剣道教室	4月～ 3月(19回)	243人
	太極拳	4月～ 3月(19回)	244人
	ハツラツ筋活教室	4月～ 3月(40回)	622人
	ピラティス	4月～ 3月(35回)	330人
	リスタート弓道教室	4月～ 3月(40回)	445人
	小計		1,884人
合計			29,189人

(3) スポーツ普及のためのイベント等の実施・支援

スポーツ王国とくしま推進会議との共催による「ファミスポカーニバル」を開催し、スポーツの普及・促進に取り組みました。

開催場所	事業名	開催日(回数)	参加人数	事業内容
アミノバ リユー ホール	ファミスポ カーニバル	10月 (1回)	1,000人	1 走る！投げる！スポーツ教室 2 スポーツ体験コーナー 3 ウォーキング大会 4 パラスポーツ体験会 等

また、鳴門渦潮高校専攻実技種目へのケガ予防やメンタルサポートに資する経費や総合型地域スポーツクラブ交流大会 in 徳島 2020 などのスポーツ普及のためのイベント等を支援することで、スポーツの普及・振興及び競技力の向上に取り組みました。さらに、企業へのスポーツによる健康増進の働きかけとして、(株)大塚テクノの社内囲碁ボール大会へ職員を派遣し、ウォーミングアップ等の指導を実施しました。

事業名	協賛団体等	支援内容等
スポーツ普及イベント等事業助成事業	徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	県内外の総合型地域スポーツクラブの相互連携強化と普及促進を目的とした「総合型地域スポーツクラブ交流大会 in 徳島2020」の運営に要する費用
スポーツ科学科支援事業助成事業	鳴門渦潮高校 スポーツ科学科支援事業 実行委員会	渦潮高校スポーツ科学科における日常の教育活動や大会・遠征等に従事するトレーナーや栄養面・心理面の指導に必要な人件費及び旅費、並びにその活動に伴い必要とされる備品や消耗品の購入
中学校武道・ダンス必修化支援事業助成事業	徳島県女子体育連盟	中学校学習指導要領におけるダンスの指導内容や指導方法についての研修を行い、指導者の指導力向上を図ることを目的とした「徳島県学校ダンス講習会」及び「ダンス研究会」に係る人件費等
企業向けスポーツ支援	(株)大塚テクノ	社内スポーツ大会における、ニュースポーツの実技指導及び健康づくり指導

3 生涯スポーツ普及受託事業（その他事業2）

(1) スポーツアプローチ推進事業（徳島県から広域スポーツセンター事業として受託）

総合型地域スポーツクラブの意義や必要性についての理解を深め、創設・運営などに必要な知識を習得するための講習会を実施し、クラブマネジャーの養成に取り組みました。また、クラブの要請に応じて専門のスポーツ指導者を派遣することにより、クラブが提供するプログラムサービスの充実に取り組みました。

本年度は、クラブ創設に向け取り組む「吉野川市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」が自立したクラブ運営を行えるよう、積極的な指導・助言を行うとともに、全国の総合型地域スポーツクラブの質的充実等を目的とした登録・認証制度が導入されることから、県内総合型地域スポーツクラブ関係者等へ理解促進を図りました。

さらに、各種サポーター養成事業においては、障がいの有無に関わらず誰もが気軽にスポーツ活動や健康づくりが実践できる環境づくりに繋がる人材育成を目的に、障がい者スポーツサポーター養成事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
クラブマネジャー等養成事業 ○クラブマネジャー養成講習会 (内容)2日間の集合学習を実施。	令和2年 1月25日・26日	美馬市	修了者 11人

<p>クラブマネジャー研修事業 ○総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度に向けた説明会 (内容)全国的な総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度導入の必要性や進捗現状等を県内クラブ等に理解促進、情報共有していただく機会として、制度導入を主体的に推進している日本スポーツ協会クラブ育成課課長を招き本制度の説明会を実施。</p>	<p>令和元年8日1日</p>	<p>徳島市</p>	<p>参加者 51人</p>
<p>スポーツ指導者派遣事業 ○NPO 法人あいずみスポーツクラブ (身体が動きやすくなるキッズトレーニング) ○あわスポーツクラブ (太極拳教室) ○ONARUTO 総合型スポーツクラブ (小学生バレーボール教室) ○NPO 法人ひょうたん島クラブ (ソフトテニス教室) ○一般社団法人 NICE (みんなの健康エクササイズ) ○NPO 法人 K-Friends (楽しくダンス) ○NPO 法人 K-Friends (春ヨガ) ○NPO 法人 K-Friends (健康力アップ) ○NPO 法人うだつコミュニティスポーツクラブ (楽しく空手を学ぼう) ○吉野川市総合型地域スポーツクラブ 設立準備委員会 (ランナーさんのためのトラブル解消講座) ○吉野川市総合型地域スポーツクラブ 設立準備委員会 (ライフスタイルヨガ) ○NPO 法人ひょうたん島クラブ (ソフトテニス教室) ○吉野川市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会 (心と体をほぐす太極拳) ○REX なかがわ (太極拳の体験教室) ○一般社団法人 NICE (マシントレと細かい筋膜を伸ばすストレッチエクササイズ)</p>	<p>平成31年5月 ~令和2年2月</p>	<p>藍住町 阿波市 鳴門市 徳島市 鳴門市 勝浦町 勝浦町 勝浦町 美馬市 吉野川市 吉野川市 徳島市 吉野川市 阿南市 鳴門市</p>	<p>(1,082人) 21人 78人 178人 69人 55人 63人 47人 14人 127人 41人 22人 70人 10人 46人 39人</p>

○吉野川市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会 (わくわくヘルスアップ教室)		吉野川市	27人
○吉野川市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会 (鴨キッズ・チャレンジスポーツ)		吉野川市	30人
○NPO 法人 K-Friends (オリ・パラリンピックを楽しもう！) ボッチャ体験		勝浦町	100人
○NPO 法人 K-Friends (オリ・パラリンピックを楽しもう！) ボルダリング体験		勝浦町	45人
エリア会議開催事業 総合型地域スポーツクラブを県内3エリアに分けて、エリア内の情報共有やクラブ間のネットワーク構築、さらに登録認証制度の理解促進等を図る目的で開催した。			(38人)
○県西部エリア会議	令和元年10月7日	阿波市	14人
○県中央部エリア会議	令和元年10月17日	板野町	9人
○県南部エリア会議	令和元年10月23日	小松島市	15人
スポーツサポーター養成事業			(264人)
○災害時健康サポーター養成事業	令和元年9月13日	徳島市	45人
○子ども元気サポーター養成事業 「幼児期の運動能力調査測定員養成講習」	令和元年9月19日	小松島市	58人
○認知症予防健康サポーター養成事業(2回)	令和元年10月25日	三好市	28人
	令和2年1月15日	鳴門市	25人
○障がい者スポーツサポーター養成事業	令和元年10月20日	美馬市	20人
○福祉スポレクサポーター養成事業(2回)	令和元年12月7日	徳島市	42人
	令和元年12月8日	海陽町	46人
○すだつネット登録者数(指導者等登録数)	通年で受付		396人
クラブ拠点活用促進事業			(3,290人)
○ジュニアスポーツ教室 (あいずみ SC 等との連携事業)	令和元年9月14日	徳島市	40人
○ソフトテニス講習会(3回) (あわ遊クラブ等との連携事業)	令和元年9月～11月	小松島市	28人
○高齢者ニュースポーツ講座(3回) (県老人クラブ連合会との連携事業)	令和元年11月	板野町	78人
		東みよし町	81人
		牟岐町	56人
○パラスポーツフェスタ (県、県トレーナー協会等との連携事業)	令和元年11月17日	徳島市	3,000人
○ゴールボール (県障がい者スポーツ協会との連携事業)	令和2年1月25日	徳島市	7人
生涯スポーツ団体連携事業 「令和元年度 生涯スポーツ推進団体 連携会議」(万代南会議室)	令和元年7月8日	徳島市	14人

広域スポーツセンター運営 ○会議参加 四国ブロッククラブネットワークアクション 2019	令和元年 11 月	高知県	1人
○普及啓発活動 創設クラブ等への支援(1団体) 既存クラブ等への会議参加・指導・助言 広報活動	平成31年4月 ～令和2年3月	県内各地	31回

(2) 総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業（徳島県体育協会から受託）

徳島県における体育・スポーツの普及及び発展を図るため、総合型地域スポーツクラブの創設や育成を支援し、県民の心身の健全な発達に寄与することを目的に事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
総合型地域スポーツクラブ普及事業 ○啓発リーフレット 3,000 部作成・配布 ○総合型未設置町へのヒアリング訪問	令和元年7月	牟岐町	1回
○総合型地域スポーツクラブ未設置町にて普及啓発を兼ねた健康教室(5回)	令和2年1月8日 ～令和2年2月23日	牟岐町 上勝町	60人
○総合型地域スポーツクラブの普及啓発(随時)	令和元年7月 ～令和2年1月	徳島市他	
総合型地域スポーツクラブ育成事業 ○県連絡協議会からの情報及び、県内クラブ等の情報共有を目的としてリーフレット作成(1,500 部作成・配布) ○訪問指導等(県内総合型クラブの会議等へ出席) ○総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC 全国ネットワーク)総会への出席 ○設立後5年以内クラブへの育成事業(効果的な体験教室を4回実施)	平成31年4月 ～令和2年3月	阿南市他 東京都 阿南市他	37回 1回 51人
総合型地域スポーツクラブ支援事業 指導者派遣(8回)	令和2年2月	スポーツクラブ はーぷな長生	46人

(3) 共創共楽スポーツ推進事業（徳島県から受託）

総合型地域スポーツクラブにおいて、障がい者スポーツの普及等を推進するために、各市町村のスポーツ推進委員や社会福祉協議会等の関係機関との連携体制の構築と、身近な場所でスポーツを共に楽しむことができる環境整備を図り、障がい者の継続的なスポーツの実施を目指して事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
障がい者が参加しやすいスポーツプログラムの実施 (AWAにじいるクラブ、NARUTO 総合型スポーツクラブ)	令和元年10月～ 令和2年2月	バーベナの里他	152人 (内障がい者 106人)
障がい者スポーツ体験会の実施 (NPO 法人あいずみスポーツクラブ、NPO 法人海陽愛あいクラブ、NPO 法人 K-Friends)	令和元年10月～ 令和2年	藍住町体育センター	159人
関係機関と連携したスポーツ・レクリエーションイベントの実施 ○パラスポーツフェスタ ○ソフトバレーふれあい交流大会	令和元年11月17日 令和2年1月26日	アスティとくしま うだつアリーナ	3,000人 200人
障がい者と健常者が一緒に楽しめる場を創る人材の研修 ○障がい者スポーツセミナー ○障がい者スポーツ講習会	令和元年9月21日 令和元年9月22日	徳島県立西部 防災館 とくぎんトモニプラザ	40人 15人
障がい者スポーツの普及啓発 ○NPO 団体フェア ○とくしまスポーツフェスティバル ○四国ブロックスポーツ推進委員研修会 ○むぎとしょマルシェ ○勝浦町ビッグひなまつり会場	令和元年11月～ 令和2年3月	新町川水際公園 アスティとくしま 牟岐町海の総合文化センター 勝浦町ビッグひなまつり会場	
障がい者スポーツの普及啓発 ○啓発チラシ 1,500 部作成・配布 ○啓発リーフレット 1,500 部作成・配布			

4 地域活性化推進事業（その他事業3）

総合型地域スポーツクラブやスポーツ・健康づくりを通じて地域貢献を目指す団体と連携・協働し、スポーツを通じた地域の課題解決や多世代の健康増進に関する取り組みを推進しました。

今年度は、健康寿命の延伸・ジュニアスポーツ支援等を主題とした「テーマ別募集事業」と、地域の実情や特性を活かした「地域課題解決型事業」に大分して実施し、そのうち幼児の運動能力調査では、より対象を広げながら実施することで、データを蓄積するとともに幼児期の運動への関心を高め、幼児の体力向上を図りました。

事業名	とき	ところ	参加者数
(1)テーマ別募集事業 ◆無関心層や若者のスポーツ参画 ○みなと小松島SC (わくわく親子体操)(15回) ○AWA にじいるC (パフォーマンス集団「にじいる HIBIKI」 結成事業)(4回)	令和元年5月 ～11月 令和元年8月 ～11月	小松島市 阿波市	(802人) 169人 43人

◆幼児の運動能力向上			
○NARUTO 総合型SC (幼児の運動能力調査)(3回)	令和元年 10 月 ～1月	鳴門市	154人
○SC美馬 (幼児の運動能力調査) (小1体育デビュー教室)(3回)	令和元年6月24日 令和2年1月	美馬市美馬町 "	81人 133人
○みなと小松島SC (幼児の運動能力調査)	令和元年11月14日	小松島市	49人
○きららこども園 (幼児の運動能力調査) (小1体育デビュー教室)(3回)	令和2年2月6日 令和2年3月	松茂町 "	47人 23人
◆ジュニアスポーツ応援体制づくり (中学校部活関連)			
○うだつCSC (バスケットサークル)	令和元年8月 ～2月	美馬市脇町	103人
(2)地域課題解決事業			(992人)
○吉野川市総合型スポーツクラブ 設立準備委員会(上桜スポーツフェスタ)	令和元年5月19日	吉野川市	800人
○那賀よしC (那賀スポ出張教室)(2回)	令和元年7月	那賀町	107人
○海陽愛あいC (かいようサーフィンスクール)(6回)	令和元年 6 月 ～11 月	海陽町	78人
○あいずみSC (歴史ウォーキング)	令和元年11月26日	藍住町	7人
事業参加人数合計			1,794人

5 売店等運営事業（その他事業4）

第3期指定管理より、「受託施設の売店（自動販売機を含む）は、指定管理者が自主事業として設置する場合に対してのみ、設置許可を与えるものとする。」こととなりました。これらの設置により得た収益は、修繕費等の管理運営に充て、さらなる利便性・安全性の向上を図りました。

6 スポーツ無関心層0（ゼロ）プロジェクト事業（その他事業5）（徳島県から受託）

スポーツや運動をする時間がないと感じている「働き盛り層」や「子育て・介護予防世代層」等のスポーツ参画機会を創出するため、県内の関係団体、企業等と連携してアウトリーチによる各種スポーツ教室や健康づくり教室を開催しました。

(1) 働き盛り層に向けたアプローチ

県内の健康経営を考える企業、事業所等と連携し、社員等の体力測定会や昼休みなどを活用して取り組める運動教室等の支援を行うことを目的に実施しました。

また、ポカリスエットスタジアムでのナイトヨガ等、仕事帰りや夜間にスポーツに親しんでもらうためのイベントを実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
大和証券セミナーへの出前講座 (4回)	令和元年9月6日～ 令和元年12月10日	徳島市	104人
スタジアムでのナイトヨガ	令和元年10月16日	鳴門市	320人
海陽町商工産業祭でのスポーツ体験会	令和元年11月3日	海陽町	400人
はじめてのエクササイズ (4回)	令和元年11月6日～ 令和2年1月15日	徳島市	48人
株式会社リブドウコーポレーション徳島貞光 工場への運動体験 (2回)	令和2年1月24日	つるぎ町	40名

(2) 子育て・介護予防世代層に向けたアプローチ

県内の商業施設等を利用して、夏休みの体操教室やフロアでの子ども・親子運動教室、子育て中の女性に向けた講座等を実施しました。さらに、日頃スポーツに親しむことの少ない介護予防が必要な世代の方々に、健康づくりへの関心を高めてもらうためのイベントを開催しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
跳び箱&鉄棒が好きになるスポーツ教室 (体力測定含)	令和元年8月20日	徳島市	188人
“お手軽運動”と“笑い”から始める健康づくり (実技と講話)	令和元年9月27日	徳島市	41人
はじめての「肩こり腰痛改善」 (8回)	令和元年11月1日～ 令和元年12月13日	徳島市	34人
はじめての「親子で運動あそび(4歳児、5歳児コース)」 (各コース5回、全10回)	令和元年11月6日～ 令和2年1月29日	徳島市	95人
どりーまあサービス秋祭り	令和元年11月9日	徳島市	250人
わくわく親子体操 (4回)	令和元年12月7日～ 令和2年2月1日	小松島市	28人
むぎとしよマルシェでの「はじめての運動体験」	令和2年2月9日	牟岐町	200人

7 三大国際スポーツ大会関連事業（その他事業6）（徳島県から受託）

徳島県が受け入れる、各国代表選手による事前キャンプ等が円滑に実施されるよう、必要な環境を整備しました。鳴門では林崎小学校と共働し、ドイツ代表チームへのおもてなし交流やキャンプのPRに取り組みました。また、選手が必要とする物品を調達するなど快適な練習環境の確保に努めました。

	とき	ところ
ネパール水泳・アーチェリー 代表トレーニングキャンプ	令和元年7月31日～ 令和元年9月3日	JAバンクちよきんぎょプール 鳴門球技場 他

カンボジア水泳代表 トレーニングキャンプ	令和元年8月8日～ 令和元年9月11日	JA バンクちよきんぎょプール
ドイツ柔道代表チーム 世界柔道選手権事前キャンプ	令和元年8月19日～ 令和元年8月26日	ソイジョイ武道館
ジョージアラグビー代表 ワールドカップ事前キャンプ	令和元年9月9日～ 令和元年9月16日	鳴門球技場 アミノバリューホール
ドイツ女子ハンドボール代表 世界選手権大会事前キャンプ	令和元年11月23日～ 令和元年11月28日	アミノバリューホール

8 管理部門

(1) 評議員会・理事会の開催

- 令和元年5月22日 令和元年度第1回（通常）理事会
 - 【承認事項】・平成30年度事業報告について
 - ・平成30年度決算について
 - ・平成30年度公益目的支出計画実施報告書について
 - 【決議事項】・評議員及び理事の候補者について
 - ・定時評議員会の開催について
 - 【報告事項】・職務執行状況について
- 令和元年6月12日 令和元年度第1回（定時）評議員会
 - 【報告事項】・平成30年度事業報告について
 - ・平成30年度公益目的支出計画実施報告書について
 - ・制裁処分の指針の制定について
 - 【承認事項】・貸借対照表について
 - ・損益計算書（正味財産増減計算書）について
 - 【決議事項】・評議員の選任について
 - ・理事の選任について
- 令和元年7月25日 令和元年度第2回（臨時）理事会（みなし決議）
 - 【決議事項】・平成31年度（令和元年度）事業計画書の変更（案）について
 - ・平成31年度（令和元年度）補正予算（案）について
 - ・金融資産運用管理規程（案）について
- 令和元年10月24日 令和元年度第3回（臨時）理事会（みなし決議）
 - 【決議事項】・令和元年度事業計画書の変更（案）について
 - ・令和元年度補正予算（案）について
- 令和2年3月23日 令和元年度第4回（通常）理事会
 - 【承認事項】・令和元年度収支補正予算（案）について
 - ・令和2年度事業計画（案）について
 - ・令和2年度収支予算（案）について

【決議事項】・役員候補者について

【報告事項】・執務執行状況報告について

・指定管理の運営に関する基本協定書の一部を変更する協定書の締結について

○ 令和2年3月25日 令和元年度第2回（臨時）評議員会（みなし決議）

【決議事項】・理事の選任について

（2）監査の実施

令和元年5月10日、平成30年度事業及び決算について監事から監査を受けました。

監査の結果、事業報告、理事の職務執行、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は適正であると認められました。

（3）法人の経営等に関する情報公開

貸借対照表（平成31年3月31日現在）を主たる事務所が置かれている鳴門総合運動公園体育館（アミノバリューホール）に掲示して公告するとともに、定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減内訳表をホームページで公開しています。

（4）人材の育成

業務に有用な資格取得を積極的に奨励し、令和元年度には、プール衛生管理者（2名）、体育施設管理士（1名）、芝草管理技術者（3名）の資格を取得することができました。また外部講師を招き、災害時に起こりうる人権問題についての知識や対応策等についての研修を職場内で実施しました。

（5）広報活動

昨年に全面リニューアルした財団のホームページを活用するとともに、施設の行事予定等のインフォメーション機能の充実を図り、これまで以上にスポーツ情報や施設状況をわかりやすく発信できるよう努めました。また、ホームページから各種教室や講習の申し込みを拡充するなど、利用者の利便性向上を図りました。

なお、令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

令和2年5月

一般財団法人 徳島県スポーツ振興財団